

物品運搬費	公使館	物品運送費並公館移轉ノ荷物運搬費共
宴會料	公使館	公使館大宴會及晚會料並領事館大長節宴會料
馬匹費	公使館 金山公館	歐米公使館馬料北京公使館金山公館馬代飼料等
備夫給	公使館	公使館備夫哥爾薩領事館水夫金山公館諸備給料
船車料	公使館	在留國內外旅行船車料
修繕費	公使館	公館貸主ニテ修補セサル修繕費其他小修繕
外國人贈與		取調物等依頼ノ節手數料並謝儀ノ類
領事事務所費	芝罘 天津 漢口 青島 上海 北京 神戶 橫濱 長崎 大連 奉天 旅順 營口 安東 通遼 吉林 龍江 黑龍 山東 河南 湖北 湖南 四川 陝西 甘肅 山西 察哈爾 熱河 直隸 奉天 吉林 黑龍 山東 河南 湖北 湖南 四川 陝西 甘肅 山西 察哈爾 熱河 直隸	事務所一切ノ費用トシテ渡切ノ分
副領事事務所費	領事館	事務所一切ノ費用トシテ渡切ノ分
貿易事務所費	領事館	同上
正金送送費		
公館借料		
公館地料	金山公館	外國人接待ニ係ル茶菓子料理等
接待費	金山公館	哥爾薩領事館水夫食料並金山公館諸附料
附費		囚人被服並食料等
雜費	金山公館	海軍軍醫月給足高
醫院費		

月手當		海軍軍醫並出仕官等外吏月手當
備品		病室器具其外
治療器械		薪炭筆墨紙其外
消耗品		薪炭筆墨紙其外
物品運搬費		小使並看護人等備給
備夫給		
藥餌費		
修繕費		
雜費		
臨時備付費		備付什器年歴ヲ經テ修補多額ヲ要スル片臨時給スル分
一類備付		公館經費ニテ修補スヘキ敷物テール其他ノ品類
二類備付		公使領事自費ニテ修補スヘキ食用テール其他ノ品類
新館備付費		備付什器公館新設ノ片一度限り給スル分
雜件		
臨時給與	各館	公使領事以下本邦滞在俸給並本邦ニテ新任及交代滿歸朝ノ者へ給スル六十日分俸給共
臨時派遣費	同上	公使領事以下滿年賜金並海外ニ於テ死亡ノ者へ給スル六ヶ月分俸給其他埋葬費料共

神官旅費	本省	
月手當	本省	
滿年賜金		
勉勵賜金		現物代料ノ別ナク給與スル分
被服料		門番(等外ノ名ヲナキモ)給仕小使給人足并馬車人力車船脚料諸職工賃評價人給料等 但集治監臨時備給ハ茲ニ編入セズ
備給		臨時備人足賃等
臨時備給	集治監	翻譯并寫字料等枚數當リヲ以テ給スルモノ其他諸手當 爲換手數料新聞紙廣告料諸品入札拂手數料等
諸手當		功勞賞與等
諸手數料		外國人(報酬ノ類 但備外國人ハ與ル分ハ備外國人給與ニ屬ス 公事ノ爲メ死傷スル者ハ給スル分 官員其外ハ給スル分
賞與		旅費宿料等(俸給ヲ除ク一切給與スルモ) 但價與ノ爲メ借入ノ家賃ハ廳費ノ雜費ニ屬ス 官物拾取ノ者(報勞ノ類
贈與		
死傷手當		
追賞祭資	小笠原島 出張所	
郵船航海費		
備外國人給與		
雜費		
備品		椅子テーブル時計書籍文匣等

器械費	土木局	測量器械
陳列品諸費	管船課	試驗用具
戒具諸費	博物局	動植物其他諸物品
見本購買	集治監 勸業局三 田舎鹽場	鎖手錠ノ類 農產物見本 醫藥品見本
消耗品	衛生局	薪炭軍墨紙等
免狀用紙費	管船課	船免狀用紙并船長以下試驗免狀用紙等
印刷費		彫刻料活版料
郵便稅		郵便爲換料郵便賃付料トモ
電信料		物品運送賃荷車荷船備料運送保險料外國注文品輸入海關稅荷用品等
運搬費		
探偵費	本省	
接待費		外國人接待ニ係ル茶菓子料理等
賄費		宿直并居殘ノ賄料(臨時宿直料等 但集治監宿直并臨時賄費ハ茲ニ編入セズ
宿直賄費	集治監	
臨時賄費	同上	居殘并臨時不潔番等ノ賄料
厩費		取者馬丁給被服馬車馬具蹄鐵飼食馬買上等
雜費		車稅借地并借家料等

諸手當	備給	勉勵賜金	滿年賜金	旅費	備外國人俸給	備員俸給	等外俸給	屬官俸給	地質調査費	雜費	各所新營修繕費	賄費	運搬費	電信料	郵便稅	消耗品	器械費	備品	
									地理局										
											一 旅費五百圓未満ノ分 但五百圓以上ノ分ハ一旅費リ額計目ヲ設クル管轄ニ全シ								測量器械并觀象用具

病畜費	肥料	運搬費	飼料	苗木種物購買	雜品費	馬匹購買	家養費	雜費	各所新營修繕費	賄費	運搬費	電信料	郵便稅	消耗品	器械費	備品	備外國人給與	死傷手當
							取香種畜場											
				牧草種并苗木等	飼糧鹽金柄杓等ノ類													測量器械分析器械土性器械分見器械

大藏省所管經費科目表

大藏省	大科目	中科目	小科目	細科目	細節
	本局				
	租稅局				
	各地稅務委員出張所				
	關稅局				
	橫濱稅關				
	大阪稅關				
	神戶稅關				
	長崎稅關				
	函館稅關				
	新潟稅關				
	商務局				
	檢査局				
	國債局				
	出納局				
	出納局大坂出張所				
	出納局長崎出張所				

(上端ニ中科目ヲ掲グルハ
特殊ニ係ルヲ示スナリ)

大藏省	大科目	中科目	小科目	細科目	細節
	出納局仙臺出張所				
	常平局				
	印刷局				
	記録局				
	俸給				
	雜給				
	旅費				
	卿輔俸給				
	書記官俸給				
	奉任出仕俸給				
	屬官俸給				
	判任出仕俸給				
	等外俸給				
	監吏俸給				監吏補共
	監定役俸給				
	電信技手俸給				技手見習共
	御用掛俸給				
	備員俸給				
	備外國人俸給				備士寫字生其他官吏ノ事務ニ從事スルモノノ給料

滿年賜金	勉勵賜金	交際手當	被服料	備給	諸手當	諸手當	諸手當	諸手當	賞與	贈與	死傷手當	追賞祭資	備外國人給與	雜費	備品	消耗品	印刷費	郵便稅
		各稅關																
勉勵超額ノ賜金事務勉勵ノ手當	現物代料ノ別ノ給與スル分			門番番(等外ノ名室リキモ)給仕小使水火去給人足并馬車人力車船備料諸職工賃銀行手代備上評價人給料等	乘艦者手當銀行手當翻譯并定字料等枚數當リヲ以テ給スルモ其諸手當	銀行手當料爲換手當料預ケ金保險料新聞紙廣告料諸品入札拂手當料等	功勞賞與等	外國人(報酬ノ類)	但備外國人(與フル分ハ備外國人給與ニ屬ス)	公事ノ爲メ死傷スルモノ(給スル分)	官員其外(給スル分)	加賃宿料等(備給ヲ除ク)一切給與スルモノ但貸與ノ爲メ借入ノ家賃ハ廳費ノ雜費ニ屬ス	官物拾ヒ取ノモノ(報勞ノ類)	椅子テーブル時計書籍文篋等	新炭墨紙等	彫刻料活版料	郵便爲換料郵便賃借料共	

電報信料	運搬費	探偵費	接待費	賄費	厩費	修船費	雜費	管繕費	何所新管	何所修繕	各所新管修繕	船舶購買	船舶製造	外國行諸費	旅費	備外國人給與	雜品費	郵便稅
						各稅關						本局	同上					
物品運送貨荷重船備料運送保險料荷造用品等	外國人接待ニ係ル茶菓子料理等	宿直并居殘ノ賄料臨時辦當料等	馭者馬丁給被服馬車馬具蹄鐵飼食馬買上等備船手入諸品同小破修繕等	車稅傳家料捐料上水費道路修繕瓦斯燈費等	地所建築買上移轉手當共	一廉目途五百圓以上ノ分	同上	一廉目途五百圓未滿ノ分						官吏備員等一切ノ旅費			文具及雜品	

電信料	運搬費	接待費	雜費	原器製造修繕費	印刷費	運搬費	備給	諸手當	諸手當	雜品費	運搬費	租稅	紙幣燒却費	印紙類製造費
				本局			出納所	同上	同上	同上	同上	租稅局	印刷局	製造費
				原器器械檢印・新調修繕共						貨幣入箱ノ類	交換手收料記番號計帳料用紙代及運送賃等			運送並荷造費(廳費)運搬費ニ屬ス

煙草印紙鑑札製造費	紙幣鑑札製造費	酒類鑑札製造費	賣證鑑札製造費	雜費	印紙類賣捌手收料	證券印紙界紙賣捌手收料	煙草印紙賣捌手收料	紙幣用紙賣捌手收料	紙幣用紙賣捌手收料	取扱手收料	備給	諸手收料	雜品費	試賣品購買	見本購買	運搬費	探偵費	
					租稅局						商務局	國債局						
				運納印紙代										製品圖畫掛供議人給料臨時雇人給料	内外物價并商車報告料	内外新聞紙物價表製圖用寫本類買上代等	輸出貨賣ノ諸物品	諸見本品購買外種代共

消 耗 品	薪炭筆墨紙等	印 刷 費	彫刻料活版料	郵 便 稅	郵便爲換料郵便管借受料共	電 信 料	物品運送賃荷車船備料運送保險料外國注交品輸入海關稅荷送用品等	運 搬 費	外國人接待ニ係ル茶菓子料理等	接 待 費	宿直起居殘ノ賄料臨時辦當料等及學識ノ者招集ノ節賄料共	賄 費	馭者馬丁給被服馬車馬具蹄鐵飼食馬買上等	既 費	動物植物其他諸品購求及標本製造費等	陳 列 品 諸 費	教育博物	雜 費	車稅預ケ料上水費借家料	備 品	該費ヲ設ケル中科目ニハ總費ヲ置カス	書 籍 費	書籍購買修置共	器 械 費	理學部 理學器械治器器械等	藥 種 費	理學部 化學用藥種等	消 耗 品		印 刷 費		郵 便 稅		電 信 料	
-------------	--------	-------------	--------	-------------	--------------	-------------	--------------------------------	-------------	----------------	-------------	----------------------------	--------	---------------------	--------	-------------------	-----------------------	------	--------	-------------	--------	-------------------	-------------	---------	-------------	------------------	-------------	---------------	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--

運 搬 費		接 待 費		電 信 料		郵 便 稅		雜 品 費	文具其他雜品	旅 費	官吏備員等一切ノ旅費	學 費	海外派遣師範學科取調官員學資金	外 國 行 諸 費	各所新管修繕	一廉目途五百圓未満ノ分	何 所 新 管	同上	何 所 修 繕	同上	管 繕 費	抽所建家買上移轉手當共	雜 費	一廉目途五百圓以上ノ分	解 剖 費	醫學部 小使給與足貨及棺槨其他雜品死體埋葬費等	賄 費		接 待 費		運 搬 費		學 生 費	雜 費
-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--------	--------	------------	--------	-----------------	-----------------------	--------	-------------	------------------	----	------------------	----	-------------	-------------	--------	-------------	-------------	----------------------------	--------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--------

電信局	自何分局至何所電 信架線等費	電信局	ノ類
雜件	技手俸給	電信局	毎事業之ヲ區分列載ス
	旅費		
	何分局建築		
	電線及雜具費		電線架設用諸物品
管業費			
鑛山依渡分局			
鑛山生野分局			
鑛山阿仁分局			
鑛山院內分局			
鑛山三池分局			
鑛山中小阪分局			
鑛山金石分局			
京濱鐵道運 輸課			
京濱鐵道運 輸課			

電信局	俸給	技監俸給	
工作赤羽分局		技長俸給	
工作品川分局		技手俸給	
工作長崎分局		修技生俸給	修技生徒ノ内實務從事並建築專門ノモノ
工作兵庫分局		書記官俸給	
製鐵所		奉任出仕俸給	
深川白煉化石		願官俸給	
工作深川分局		判任出仕俸給	
木具塗物場		等外俸給	
工作品川分局		巡查俸給	

司法省所管經費科目表								
大科目	中科目	小科目	細科目	細節				
司法省	本省			備給				
	大審院			備品				
	東京上等裁判所			被服費				
	大阪上等裁判所			消耗品				
	宮城上等裁判所			郵便稅				
	長崎上等裁判所			附費				
				雜費				

司法省所管經費科目表															
東京裁判所															
京都裁判所															
大阪裁判所															
橫濱裁判所															
新潟裁判所															
神戶裁判所															
函館裁判所															
長崎裁判所															
水戸裁判所															
熊谷裁判所															
弘前裁判所															
仙臺裁判所															
福島裁判所															
名古屋裁判所															
靜岡裁判所															
松本裁判所															
金澤裁判所															
松江裁判所															
松山裁判所															

諸手收料	諸手當	備給	被服料	勉勵賜金	滿年賜金	旅費	雜給	儲外國人俸給	儲員俸給	御用掛俸給	等外俸給	判任出仕俸給	書記生俸給	奉任出仕俸給	書記官俸給	議官俸給	幹事俸給	議長俸給	
爲換手收料新開紙廣告料諸品入札拂手收料	門番(外ノ名義ノキモノ)給仕小使給人足並馬車人力車解備料諸職工賃諸個人給料等 翻譯並寫字料等枚數當ヲ以テ給スルモノ其他諸手當	現物代料ノ別ナク給與スルモノ	勉勵超眾ノ賜金事務勉勵ノ手當					儲士寫學生其他官更ノ事務ニ從事スルモノ、給料											

賞與	贈與	死傷手當	追賞祭資	雜費	備品	消耗品	印刷費	郵便稅	電信料	運搬費	接待費	賄費	厩費	雜費	管轄費	何所修繕	何所新營
功勞賞與等	外國人へ報酬ノ類	公事ノ爲メ死傷スルモノへ給スル分	官員其外へ給スル分	官物拾ヒ取ノモノへ報勞ノ類	椅子テールル時計書籍文庫等	薪炭筆墨紙等	彫刻料活版料	郵便爲換料郵便管借安料トモ	物品運送賃荷車船備料運送保險料荷造用品等	外國人接待ニ係ル茶菓子料理等	宿直並居殘ノ賄料臨時辦當料等	取者馬丁給被服馬車馬具蹄鐵飼食馬買上等	車稅借家料等	地所建築買上移轉手當トモ	一旅自途五百圓以上ノ分	同上	

十五年第八號布告
ニ依リ消滅

明治十二年十二月 大政官 達 第五十號 (開拓使所管經費科目表)

四三二

大科目	中科目	小科目	細科目	節
開拓使	本廳			一 歳目達五百圓未満ノ分
	函館支廳			
	根室支廳			
	東京出張所			
	屯田事務局	俸給		
			長次官俸給	
			勅任出仕俸給	
			書記官俸給	
			奏任出仕俸給	
			屬官俸給	
			判任出仕俸給	

細節 (上端ニ中科目ヲ掲クルハ
特殊ニ係ルヲ示スナリ)

明治十二年十二月 大政官 達 第五十號 (開拓使所管經費科目表)

四三三

大科目	中科目	小科目	細科目	節
		雜給		
			等外俸給	
			上長官俸給	
			士官俸給	
			下士俸給	
			御用掛俸給	
			備員俸給	
			備外國人俸給	
			管内旅費	
			管外旅費	
			滿年賜金	
			勉勵賜金	勉勵超衆ノ賜金申務勉勵ノ手當
			交際手當	
			被服料	現物代料ノ別ナク給與スルモノ
			馬飼料	屯田事務局
			備給	門番(等外)ノ名義ナキモノ(給仕小使給人足并馬車人力車備料諸職工賃諸個人給料等)
			諸手當	翻譯位寫字料等枚收當リヲ以テ給スルモノ其他諸手當
			諸手收料	新聞紙廣告料爲換手收料同取扱手收料(保險並銀行手收料諸品入札拂手收料等)
			賞與	功勞賞與等

管 轄 費	贈 與	死 傷 手 當	追 賞 祭 資	備 外 國 人 給 與	雜 費	備 品	消 耗 品	印 刷 費	郵 便 稅	電 信 料	運 搬 費	接 待 費	賄 費	療 養 費	厩 費	幣 票 料	雜 費	地 所 建 家 買 上 移 轉 手 當 トモ
	外國人(報酬ノ類 但備外國人ニ與フル分ハ備外國人給與ニ屬ス 公事ノ爲メ死傷スル者ハ給スル分	官員其外ハ給スル分	官員其外(座給ヲ除ク)一切給與スルモノ 但貸與ノ爲メ借入ノ家賃ハ廳費ノ雜費ニ屬ス 官物拾ヒ取ノ者(報勞ノ類)			椅子 テーブル 時計 書籍 文篋等	薪炭 筆墨 紙等	彫刻 料 活版 料	郵便爲 應料 郵便 賃借 受料 共		物品運送 賃荷 備料 運送 保險 料 外國 注 文 品 輸 入 海 關 稅 其 他 荷 運 用 品 等	外國人 接待 ニ 係 ル 茶 葉 子 料 理 等	宿直 並 居 殘 ノ 賄 料 臨 時 辦 當 料 等	藝師 其 他 思 者 諸 費	馭者 馬 丁 給 被 服 馬 車 馬 具 蹄 鐵 飼 食 馬 買 上 等	函 館 八 幡 宮 例 祭 幣 神 饌 料	借家 料 等	

何 所 新 管	何 所 修 繕	各 所 新 管 修 繕	旅 費	備 外 國 人 給 與 費	雜 品 費	郵 便 稅	電 信 料	運 搬 費	接 待 費	雜 費	學 生 費	管 外 旅 費	學 資	旅 費	書 籍 費	外 國 留 學 生 費	外 國 行 諸 費	何 所 新 管
一廉 目 途 五 百 圓 以 上 ノ 分	同 上	一廉 目 途 五 百 圓 未 滿 ノ 分	官 吏 備 員 等 一 切 ノ 旅 費		文 具 及 雜 品										定 額 ヲ 以 テ 給 ス ル 分			

備員俸給	管內旅費	管外旅費	備給	備品	被服費	治療器械	消耗品	藥研費	郵便稅	電信料	運搬費	賄費	雜費	物產管捌所費	御用掛俸給	備員俸給	勉勵賜金	備給	
						治療器械購買修理トモ								東京出張					

備品	消耗品	郵便稅	電信料	運搬費	賄費	雜費	恩賜費	賞與	救助費	救雜費	窮民恤救	乘兒養育	雇災救助	雜破船諸費	獄署諸費	屬官俸給	等外俸給	備員俸給	
								勳功勳等ニヨリ一時ノ賞賜篤行奇特者ノ褒賞等一般人民ニ給スル分		無籍行旅病人行倒死人等ニ付テノ費用	鯨寡孤獨廢疾ノ分	水火風災等ノ分	醫師備料附料藥料其他必需ノ費用	囚獄懲役ノ兩費ヲ合編ス					

大科目	中科目	小科目	細科目	備註
		贈與	贈與	外國人へ報酬ノ類
		追賞祭資	追賞祭資	官員其外へ給スル分
		死傷手當	死傷手當	公事ノ爲メ死傷スルモノへ給スル分
		雜費	雜費	官物拾ヒ取ノモノへ報勞ノ類
		備品	備品	椅子テーブル時計書籍文匱等
		消耗品	消耗品	薪炭筆墨紙等
		印刷費	印刷費	彫刻料活版料
		郵便稅	郵便稅	郵便爲換料郵便當借支料共
		電信料	電信料	
		運搬費	運搬費	物品運送賃荷車荷船備料運送保險料荷造用品等
		接待費	接待費	外國人接待ニ係ル茶菓子料理等

大科目	中科目	小科目	細科目	備註
		管轄費	管轄費	宿直居殘ノ賄料臨時辦當料等
		雜費	雜費	借家料等
		何所新營	何所新營	地所建築買上移轉手當共
		何所修繕	何所修繕	一廉目途五百圓以上ノ分
		各所新營修繕	各所新營修繕	同上
		地券費	地券費	一廉目途五百圓未満ノ分
		定式地券用紙製造費	定式地券用紙製造費	
		運搬費	運搬費	改正定式共券狀遞送及荷造費等
府縣	本廳	俸給	知事俸給 三府 令俸給 三十六縣	上端ニ廳名ヲ掲グルハ特 殊ニ係ルヲ示スナリ

- 五等官 同 貳百圓
- 六等官 同 百五拾圓
- 七等官 同 百圓
- 八等官 同上等給七拾五圓
- 九等官 以下是迄ノ通 同 下等給六拾圓

十九年勅令第六十九號ニ依リ消滅

○第五十四號 (十二月二十七日 輪廓附)

中央衛生會職制及事務章程別冊ノ通相定候條此旨相達候事

(別冊)

中央衛生會職制

一本會ハ左ノ人員ヲ以テ之ヲ編成ス

- 會長 一名
 - 副會長 一名
 - 委員 一名
 - 醫員 八名
 - 化學家 一名
 - 工學家 一名
 - 衛生局長 一名
 - 內務書記官 一名
 - 警察官 一名
- 以上十三名ヲ以テ定員トス

官省院使府縣

十三年大政官第二十七號達ヲ以テ第一項改正

- 一會長及委員ハ特選ニシテ副會長ハ委員中ヨリ投票ヲ以テ之ヲ選定ス
- 一會長ハ本會議事ノ章程及ヒ附則ニ從ヒ議事ヲ整頓シ其議定セルモノヲ內務卿ニ具申ス
- 一副會長ハ會長缺席ノ時總テ其事務ヲ代理ス
- 一委員ハ議事章程及ヒ附則ニ從ヒ諸議案ヲ議スルヲ掌ル
- 一書記數員ヲ置キ議事ヲ筆記シ及ヒ文案計算翻譯等ノ事ヲ掌ラシム

中央衛生會事務章程

- 第一條 中央衛生會ハ內務卿之ヲ管理シ全國衛生事務ニ關スル諸件ヲ審議スル所トス
- 第二條 布告公達ノ衛生上ニ關スルモノハ其發行前官府ノ諮詢ヲ受ケ之ヲ議スルコトヲ得ヘシ
- 第三條 本會ハ衛生各般ノ事項ヲ地方官ニ尋問シ或ハ臨時會員ヲ各地方ニ派遣シテ檢察セシムルコトヲ得
- 第四條 本會ニ於テ議定セル事件ハ之ヲ內務卿ニ開申ス
- 第五條 通常會ハ少ナクモ毎月一回之ヲ開クモノトス臨時會ハ內務卿或ハ會長ノ指圖ニ由テ之ヲ開キ又ハ委員三名以上ノ請求ニ依リ之ヲ開クコトヲ得
- 第六條 本會ハ委員半數以上出席スルニアラサレハ當日ノ會議ヲ開クコトヲ得ス
- 第七條 委員二名以上同意ノ所見アレハ之ヲ會議ニ付シ其可ト決スルモノハ本會ノ意見トシテ內務卿ニ建議スルコトヲ得
- 第八條 本會議決ノ事項中公告スヘキモノハ本會ノ名ヲ以テ之ヲ一般ニ公告ス
- 第九條 本會議事章程及附則ハ內務卿ノ認可ヲ得テ施行スヘシ

○第五十五號 (十二月二十七日 輪廓附)

府 縣

二十年閣令第十號ヲ以テ廢止

明治十二年十二月 大政官 達 第五十五號

今般地方衛生會規則左ノ通相定候條此旨相達候事

地方衛生會規則

十三年太政官第十
二號達參看
十三年太政官第六
十二號達ヲ以テ但
書追加

- 第一條 本會ハ地方衛生ノ全體ヲ視察シ人民ノ健康ヲ保持増進スルノ目的ニシテ府知事縣令ヲ輔翼スルカタメ設立スルモノトス
- 第二條 本會ハ左ノ人員ヲ以テ之ヲ編成ス
 - 醫師三名乃至五名
 - 府縣會議員三名
 - 公立病院長
 - 公立病院藥局長
 - 衛生課長
 - 警察官一名
- 第三條 本會ハ府知事縣令ノ管理ニ屬シ其委員ハ知事令之ヲ命ス
但醫師ハ府縣會議員ヲシテ管内ノ開業醫師ヲ公撰セシメ府縣會ヨリ出ス所ノ委員ハ其府縣會ニ於テ之ヲ公撰セシム
- 第四條 會長ハ府知事縣令之ニ任シ副會長ハ委員中ヨリ投票ヲ以テ之ヲ撰定ス
- 第五條 公撰委員ノ在任ハ滿二ケ年トナシ滿期毎ニ之ヲ改撰ス但前任ノ者ヲ再撰スルコトヲ得
- 第六條 委員ノ外書記一名若クハ二名ヲ命シ本會ノ雜務ヲ處辨セシム
- 第七條 委員ハ俸給ナシ但開會ノ地ヲ距ルニ里以外ニ住スル者ニハ相當ノ旅費ヲ給シ又非職無給ノ者ニハ相當ノ手當ヲ給スルヲ得

十三年第三十七號
布告參看十六年太
政官第六十五號達
十九年勅令第四十
號ニ依リ消滅

- 第八條 本會ハ少ナクモ毎月一回之ヲ開クモノトス
但臨時又ハ至急ヲ要スル事件アル時ハ會長ノ招集ニ應ジテ之ヲ開キ又委員半數以上ノ請求ニ依テ之ヲ開クコトヲ得
- 第九條 本會ニ於テ議定スヘキ事件左ノ如シ
 - 一 衛生上ニ關スル布告布達等ヲ該地方ニ實施スルノ方法
 - 二 府縣ニ於テ發行スヘキ衛生上ニ關スル布達ノ草案
 - 三 府知事縣令ヨリ發セル議案立ニ中央衛生會內務省衛生局及ヒ郡區町村衛生掛ノ尋問ニ係ル事項
- 第十條 本會ハ各郡區役所ヨリ府縣廳へ上申セル衛生上ノ諸報告等ヲ檢察スヘシ
- 第十一條 本會ハ該地方ニ實施スヘキ衛生事項ニ就キ其考案ヲ府知事縣令ニ建議スルヲ得
- 第十二條 本會ハ該地方ノ衛生上ニ關スル實況ヲ檢察スルカタメ擔當吏員ノ派出ヲ府知事縣令ニ建議スルヲ得
- 第十三條 本會ノ議事筆記ハ時々之ヲ內務省ニ報告スヘシ
- 第五十六號 (十二月二十七日 輪廓附)
- 明治十年六月第四十六號達中檢事長ヲ廢シ更ニ勅任檢事ヲ置キ判事檢事年俸左表ノ通改定候條此旨相達候事

官省院使府縣

判事		奏任		勅任	
四千五百圓	四千二百圓	三千五百圓	三千圓	二千四百圓	二千二百圓
一千八百圓	一千五百圓	一千二百圓	九百六十圓	七百八十圓	六百六十圓

勅 任 奏 任
年俸判事ニ同シ

○一月六日

來ル八日陸軍始ニ付太政官休暇候條此旨相達候事

官省院使 東京府

○一月二十一日

公使領事費用條例中左ノ通改正追加候條此旨相達候事

外務省

領事費用條例

第十九條 交代濟並賜暇歸朝官員俸給ノ事

一 公使領事書記官書記生交代濟歸朝スル者ハ著翌日ヨリ第六號表交代濟歸朝日當ヲ給ス尤他へ赴任スルカ轉任スル者ハ拜命ノ前日迄免職病死スル者ハ其日迄ヲ給ス

(△印ハ朱書)

第六號表追加

交代濟歸朝日當

特命全權公使

△二等官 金三圓五拾錢

同

△三等官 金三圓

代理公使

△四等官 金貳圓貳拾錢

總領事

△四等官 金貳圓貳拾錢

一等書記官

△五等官 金壹圓八拾錢

領事

△六等官 金壹圓五拾錢

二等書記官

△六等官 金壹圓五拾錢

十九年勅令第四十九號ニ依リ添設

十三年十月二十九日大政官達ヲ以テ本項更正

九月十日兼任ヲ罷

副領事

△八等官 金八拾錢

一等書記生

△八等官 金八拾錢

二等書記生

△九等官 金六拾錢

○二月十九日

依願免法制局長官

官省院使府縣

參議兼法制局長官伊藤博文

兼任法制局長官

參議兼工部卿從四位勳一等井上馨

右ノ通本日宣下相成候條此旨相達候事

府 縣

○二月二十七日 (輪廓附)

河港道路堤防橋梁費ノ儀ハ明治十一年七月第九號布告ヲ以テ相定メ右施行順序ノ儀ハ同年七月二十二日號外達第十二項ノ通相達置候得共自然各地方ノ慣行ニヨリ右ニ準據シ難キ分ハ府縣會ノ決議ヲ以テ暫ク舊慣ニ因リ施行シ不苦候條此旨爲心得相達候事

○三月十日

各地御巡幸親シク民事ヲ被察内政深ク御軫念被遊今般左ノ條々被仰出候

一 凡百般ノ政探勤儉ヲ本トシ冗費ヲ省キ務メテ簡實ニ就キ專ラ民生ヲ厚クシ事業ヲ勸ムヘキ事

一 官省ノ建築其他一切ノ土木既ニ著手シタル分ヲ除ク外可成省略可致事

一 各地方官ニ於テモ厚ク旨意ヲ奉體シ費用ヲ節略シ民力ヲ愛養スヘキ事

○四月十八日

本年地方官會議之儀延期被 仰出候條此旨相達候事

官省院使 東京府

○四月二十九日

太政官來ル五月一日ヨリ當分ノ内午前第八時出頭午後第二時退出ト被定候條此旨相達候事

十一月二十九日達

七月二日達ヲ以テ

明治十二年二月三月四月 大政官 達 無號

四八三

十九年内閣第二號
選ヲ以テ修史館殿
止

○五月二十八日

官省院使府縣
兼任修史館總裁 太政大臣兼賞勳局總裁從一位勳一等三條實美

右ノ通本日宣下相成候爲心得此旨相達候事

内務省 陸軍省
海軍省 東京府

○六月四日

東京招魂社
右靖國神社ト改稱別格官幣社ニ被列候條此旨相達候事

内務省 陸軍省 海軍省

東京招魂社ノ儀今般靖國神社ト改稱別格官幣社ニ被列候ニ付テハ自今内務陸軍海軍三省ニ於テ管理可致尤モ祭典其他ノ常務ハ左ノ區分ニ從ヒ可取扱此旨相達候事

一 祭式ハ神社祭式ニ準シ陸軍海軍二省ノ官員之ニ臨ミ執行スヘシ
一 祭式ノ外施設ノ廉竝例典ハ從前ノ通

一 神官進退黜陟ハ内務省ノ專任タルヘシ
一 神官増員若シクハ増給ハ内務陸軍海軍三省協議ノ上具申スヘシ

一 建築修繕等及ヒ其他一切ノ經理ハ陸軍省ノ專任タルヘシ
但本殿拜殿等ノ模樣替ニ係ルハ三省ノ協議ヲ要ス

官省院使府縣

○六月二十八日

來ル七月十一日ヨリ九月十日迄諸官員暑中休暇ヲ賜リ候條總テ明治七年^七第八十四號達ノ通可心得此旨相達候事

官省院使 東京府

○七月二日

二十年閣令第四號
參看

六月七日業務ヲ免
ス

太政官中本月十一日ヨリ來ル九月十日迄午前第八時出頭午第十二時退出ト被定候條此旨相達候事

官省院使府縣

○七月十一日

大藏卿大隈重信箱館出張中大藏卿兼務被仰付候事
右之通本日御沙汰相成候條此旨相達候事

官省院使府縣

○七月二十二日

今般内務省中ニ中央衛生會ヲ被開候條此旨爲心得相達候事

官省院使府縣

○八月七日

大藏卿大隈重信歸京ニ付大藏卿兼務被免候事
右之通本日御沙汰相成候條此旨相達候事

外務省

○八月二十日

公使領事費用條例中左ノ通改正追加候條本年七月ヨリ施行可致此旨相達候事

領事費用條例
第一條

第四款追加

一 派出官員本邦出發前許可ヲ得テ妻携帶スル者及ヒ在勤ノ盡許可ヲ得テ任所へ妻呼寄スル者ハ總テ其妻任所著翌日ヨリ妻携帶年俸ニ改ム歸朝スル者ハ任所出發ノ前日迄ヲ限リ支給ス故ニ其著發日限必ス外務省へ届出ヘシ
但任所ニ於テ妻病氣其他事故アリテ其夫ニ立別レ歸朝スル者ハ其妻任所出發ノ日ヨリ妻不携

十九年勅令第四十
九號ニ依リ消滅

十四年外務省第三
十號達ヲ以テ文中
改正

帶ノ年俸ニ改ム追テ呼寄スルルハ本文ニ準スヘシ

第二款へ増補

一御用有之他ノ公館へ巡回ヲ命セラレノ下へ(或ハ渡航中困難ニ罹リ次ノ郵船待合ノ爲メ外國ノ或ル一地ニ上陸滞留シ)ノ三十二字ヲ挿入ス

第五條

第三款但書共改正

一任所へ召連候妻並從者ノ本邦往返旅費ハ其夫其雇主公用或ハ賜暇歸朝ノ節隨從若クハ其際同行シ難キ事故アリ追テ本邦へ呼返シ或ハ任所へ呼寄スルモノニ限ルヘシ右ノ外ハ本邦往返旅費一切支給セサルヘシ

○八月三十一日

官省院使 東京府

今三十一日午前八時十二分皇子御降誕被遊候ニ付在京ノ奏任官以上齋香間祇候及ヒ華族ノ輩本日ヨリ三日ノ内宮内省へ參賀可致此旨相達候事

○九月五日

官省院使 東京府

明六日皇子御命名式被爲行候ニ付太政官休暇候條此旨相達候事

○九月十日

官省院使府縣

兼任文部卿

參議兼外務卿正四位勳一等寺島宗則

兼任外務卿

參議兼工部卿法制局長官從四位勳一等井上馨

兼任參議工部卿

陸軍中將兼司法大輔議官從四位勳二等山田顯義

右之通本日宣下相成候條此旨相達候事

十三年二月二十八日
文部卿ヲ免ス
十八年太政官第六十九號達ヲ以テ廢
官
十三年二月二十八日
工部卿ヲ免ス

十三年二月二十八日
太政官達ヲ以テ
兼文部卿ヲ免シテ
兼工部卿ヲ以テ
法制局廢止

○九月十二日

官省院使府縣

兼任法制局長官兼文部卿如故

參議兼文部卿正四位勳一等寺島宗則

右之通本日宣下相成候條此旨相達候事

○十月十六日

各通 內務省 大藏省 陸軍省 海軍省 工部省 開拓使

明治十年七月相定候作業費出納條例中別紙ノ通改正候條十二年度ヨリ施行可致此旨相達候事

(別紙)

作業費出納條例

第三條 興業費營業費區分ノ事

作業上ノ費項分ツテ興業營業ノ二トス其分界ハ第一節以下ニ掲ル如シ

第一節

興業費

該費ハ全ク開業前ニ係ル費項即チ工場其他附屬舎ノ諸營築及器械購入等ノ費途並開業後事業擴張ノ爲メ諸建物ヲ増築シ或ハ器械購入ノ費用ヲ類集ス金額受拂ノ制限ハ第五條ニ掲ル如シ

開業ノ期云々

第二節

營業費

該費ハ開業後ニ係ル營業必需諸物品ノ購入官吏俸給諸職工傭給及諸器械ノ修繕並不足補充毀損新調其他工場並附屬舎ノ營繕等本業ニ屬スル諸般ノ費途金額受拂ノ制限ハ第六條ニ掲ル如シ類集ス作業不充分等

ニシテ損失ヲ爲シ爲メニ資本中欠額ヲ生スル
ハ之ヲ補填スルハ第四條第三節ニ掲ル如シ
第四條豫算申請ノ事

第三節

作業不充分等ノ爲メ損失ヲ生スル時ハ其員額ハ營業資本ノ欠額補填トシテ更ニ大藏省ヨリ交
付スヘシ故ニ第二節ノ例ニ准シ各詳細ノ仕譯書ヲ以テ伺出ツヘシ
償却法ハ第七條第
三節ニ掲ル如シ

第六條 營業費受拂制限ノ事

第一節

營業費ハ云々

但毎年度分界ノ際ニ於テハ末期ノ現金物品代價其他製作済及ヒ製作中未收入金ト併セテ
之ヲ其資本原額ニ填充スルモノトス

第七條 收入金運用及ヒ工費消却損益比較等ノ事

第三節

營業資本ハ該年度ノ收入ヲ以テ償還スル勿論ト雖ヒ作業不充分等ニテ之ヲ償還シ得サルモノ
ハ第一節ノ例ニ同シ

第四節ヲ删除シ第五節ヲ第四節トナス以下各節皆倣之

自
至
同
何
年
何
年
六
月
七
月
六
月

諸作業損益比較報告

何 局

何 省

十七年大政官第八
十九號達ヲ以テ會
計年度改正以下倣
之

財産價格 金

(地所建物器械等ノ價格時價ヲ掲クヘシ其未ク調定ニ至ラサルモノ云フ)
營業資本 金

本年度損益比較

營業費 金

收入 金

比較

金

内

金

金

益 (損)

營業資本欠額補填
ノ分償却

興業費償却

益(損)ノ方

何分ニ當ル

益(損)ノ方

何分ニ當ル

益(損)金ト營業資本金ト比較

益(損)金ト財産價格
自起業至本年度收出比較

興業費金

内 金

營業費 金

收入 金

最初ヨリ何年六月迄ノ分
本年度分

一金	元受高
内現	
物品代價	
(外國或ハ遠隔ノ地へ物品ヲ注文シ已ニ其代價ノ幾分ヲ支給セシ類ハ現金中ニ算入スヘシ)	
此譯	
金	前期ヨリ越高
(是ハ資本金運用中ノ一例ヲ掲ク其當初受領ノ節ハ左ノ一項ニ換ユ)	
金	資本原額何月何日ヨリ
但證何號何號	何日迄大藏省ヨリ受取
但證何號何號	リ同日迄大藏省ヨリ受取
高金	同何月迄大藏省ヨリ受取
金	收入金資本へ償還高
外	大藏省へ納付高
金	益 不用物品拂代
内金	仕拂高
一金	元受高
(内譯從前ノ通)	何省
年號何年自何月 何月 何月 (毎三ヶ月)	
作業收入精算帳	
内金	製作品賣拂高

金	此譯	金	不用品拂代
内		金	何局
金		金	器械類製作
金		金	同修繕
金		金	何々不用物品拂代
金		金	但營業資本へ償還スヘキ分
金		金	同斷
但證何號		金	但興業費へ償却スヘキ分
内		金	仕拂高
一金		金	營業資本へ償還
以下各製作所限リ此例ニ倣ヒ内譯列記スヘシ		金	製作費資本へ償還
		金	不用品拂代同上
		金	何年何月何日
		金	大藏省納

初款増補

一公使領事云々各任所迄往返及ヒ在勤中ノ下ヘ(兼任國往返並)ノ六字ヲ挿入ス

○十一月二十九日

來明治十三年地方官會議被開候ニ付同年二月一日ヲ限リ各府縣長官著京可致此旨相達候事
但事務上差支長官出京難相成節ハ書記官出京可致事

○十二月四日

來ル六日後桃園院天皇御式年祭ニ付本日休暇候條此旨相達候事

○十二月二十三日

地方官會議議長被仰付候事

右本日宣下相成候條此旨相達候事

○十二月二十六日 (輪廓附)

自今奏任官以下ニ慰勞又ハ手當トシテ一月俸給以下ノ金額ヲ給與スルコトヲ得尤奏任官ハ具狀申稟ノ上之ヲ施行スヘシ此旨相達候事

但明治九年九番外達判任官以下賞與ノ儀ハ廢止候事

○十二月二十六日 (輪廓附)

今般奏任官以下慰勞又ハ手當金給與ノ儀相達候ニ付テハ明治十一年八月第三十五號達府縣官任期例中書記官屬官ニ係ルニ項ハ廢止ト心得ヘシ此旨相達候事

○十二月二十六日

地方官會議事務ニ關スル伺届等ハ總テ議長ヘ宛テ可差出此旨相達候事
但該事務局ハ當分府下祝田町元老院内ニ開設候事

十三年二月二十七日
地方官會議開院

十五年十二月二十日
六日大政官達ヲ以テ廢止

同上

外務省

(外務省達中一般頒布セザルモノハ概テ之ヲ省クト雖モ特ニ其必要ト認ルモノハ之ヲ掲載ス)

達

○第十七號 (二月二十五日)

公使領事へ

海外在勤官員俸給之儀本年一月ヨリ當分之内俸給ハ壹割増定額旅費ハ貳割増支給候條此旨相達候事

但雇書記官外國人給料ハ此限ニ非ス

○第十八號 (四月二日)

各通 花房代理公使 山之城管理官

朝鮮國在勤官員年俸更正別紙表面之通被相定候ニ付支給方之義ハ別冊費用條例ニ照準四月一日ヨリ施行可被致尤花房公使一行之者ハ先在勤被命候日ヨリ右ニ準據候義ト可被相心得候事(別冊費用條例ニ照準)

但公館限リ雇入之者ハ此限ニ非ス

(別紙)

在朝鮮國官員年俸表

	朝鮮京城並新開二港	釜山	浦
四等官	四千五百圓	四千貳百圓	
五等官	三千六百圓	三千四百貳拾圓	
六等官	貳千七百圓	貳千五百五拾圓	

十三年三月六日大政官達ヲ以テ八等官以上年俸改正

十三年外務省達第二十號ニ依リ消滅

第十九號達參看

明治十二年一月四月 外務省達 第十七號 第十八號 (在朝鮮國官員年俸表)

七等官	貳千四百圓	貳千貳百貳拾圓
八等官	千八百圓	千六百貳拾圓
九等官	千六百圓	千四百貳拾圓
十等官	千五百圓	千三百貳拾圓
十一等官	千四百圓	千貳百圓
十二等官	千三百圓	千圓
十三等官	千圓	九百圓
十四等官	千圓	八百圓
十五等官	千圓	七百圓
十六等官	千圓	六百圓
十七等官	千圓	五百圓
等外一等	五百圓	四百五十圓
等外二等	四百圓	三百五十圓
等外三等	三百圓	二百五十圓
等外四等	二百圓	一百五十圓

但年俸支給割合ハ費用條例中書記官書記生ニ準ス此年俸ハ派出ヲ命セラレタル日ニ起リ歸京ノ日ニ終ル任所往返ハ年俸三分ノ二旅行日數ニ應シ支給ス

釜山浦在勤海軍醫俸給表

(△印未惠)

大軍醫	貳拾八圓	百五圓	百三拾三圓	千五百九拾六圓	△海軍省ヨリ支給非役俸
大軍醫	貳拾六圓	七拾五圓	百壹圓	千貳百拾貳圓	△三拾九圓
中軍醫	貳拾圓	六拾九圓	八拾九圓	千六百拾八圓	△三拾圓
中軍醫	拾八圓	六拾五圓	八拾三圓	九百九拾六圓	△貳拾七圓
少軍醫	拾六圓	六拾圓	七拾六圓	九百拾貳圓	△貳拾四圓
少軍醫	拾四圓	五拾六圓	七拾圓	八百拾四圓	△貳拾圓
軍醫副	拾貳圓	四拾九圓	六拾壹圓	七百拾貳圓	△拾八圓
軍醫副	拾圓	四拾五圓	五拾五圓	六百六拾圓	△拾五圓

但支給方ハ從前ノ通

在朝鮮國官員在留國內旅行雜費

四等官	金	七圓	但	一日	分
五等官	金	六圓	五拾錢	同	
六等官	金	六圓	同		
七等官	金	五圓	同		
八等官	金	四圓	同		
九等官	金	四圓	同		
十等官	金	三圓	五拾錢	同	